

安全データシート(SDS)

作成 2014-12-19
改訂 2016-06-01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ペリオメイトパウダー
 供給者の会社名 株式会社ナカニシ
 住所 栃木県鹿沼市下日向700
 担当部門 品質保証部
 電話番号 0289-64-3380
 FAX番号 0289-62-5636
 推奨用途及び使用上の制限 歯面の清掃

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 自然発火性固体 区分外
 水反応可燃性化学品 区分外

健康有害性 急性毒性(経口) 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示 GHSに基づく絵表示なし
 注意喚起語 GHSに基づく注意喚起語なし
 危険有害性情報 GHSに基づく危険有害性情報なし

注意書き

安全対策 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
 応急措置 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 保管 換気の良い場所で保管すること。
 廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
 処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
グリシン	>99%	C ₂ H ₅ NO ₂	(9)-77	既存	56-40-6
ヘキサメチルジシラザン処理シリカ	<1%	C ₆ H ₁₉ NSi ₂ O ₂ Si	(1)-548	既存	68909-20-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 水と石鹼で洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性及び遅発性の
最も重要な徴候及び症状

- ・気道の刺激(くしゃみ、咳、鼻汁、頭痛、嘔声、鼻や喉の痛みなど)
- ・機械的な皮膚刺激(擦過傷、赤み、痛み、かゆみなど)
- ・軽度の眼刺激(発赤、痛み、流涙など)
- ・胃腸刺激(腹痛、胃不調、吐き気、嘔吐、下痢など)

5. 火災時の措置

消火剤	小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水。 大火災: 散水、水噴霧、一般の泡消火剤。
特有の危険有害性	可燃性物質: 燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、 保護具を着用する。
安全取扱注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 排気用の換気を行うこと。 飲み込みを避けること。 皮膚や眼との接触を避けること。 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	保管場所には化学品を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、 照明及び換気の設備を設ける。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2015年版)	ACGIH (2015年版)
グリシン	未設定	未設定	未設定
ヘキサメチルジシラザン処理シリカ	未設定	未設定	未設定

設備対策

粉じんが発生する場合は、設備の密閉化や局所排気装置等の対策を行う。

本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうがよい。

保護具

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 呼吸器の保護具 | 換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な保護眼鏡を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 適切な保護衣を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	固体
	形状	粉末
	色	白色
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		5.9~6.4
融点・凝固点		232~236°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		該当しない
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		1.4~1.6 (1.595g/ml)
溶解度		水:225 g/L
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、アンモニア、窒素酸化物が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、グリシン 7930mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が8009.29mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。(混合物の<1%は毒性が未知の成分からなる。)
	経皮	データがなく分類できない。
	吸入(粉じん)	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性		データがなく分類できない。
皮膚感受性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データ不足のため分類できない。
水生環境有害性(長期間)	データ不足のため分類できない。
生態毒性	グリシン 甲殻類(オオミジンコ)EC50(48H)>220mg/L
残留性・分解性	グリシン 急速分解性(14D, ≤76.82%)
生体蓄積性	グリシン logPow = -3.21
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を 含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは 地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を 充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の 基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	Regulatory Information by Sea Regulatory Information by Air	Not dangerous goods Not dangerous goods
国内規制	陸上規制 海上規制情報 航空規制情報	非該当 非危険物 非危険物
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。	
緊急時応急措置指針番号	なし	

15. 適用法令

適用される主たる法令はなし。

16. その他の情報

連絡先	株式会社ナカニシ
参考文献	RTECS ECHA C&L Inventory Database ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。